

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 23 [2018年10月18日(木)]

なぜ人は勉強するのだろうか？

毎日勉強しながら、「何で勉強なんかしなければならないのか？」と思ったことはないでしょうか。以前から考えていたことを書かせてもらいます。

なぜ勉強するのか、と聞かれると「テストがあるから」「入試を乗り越えるため」という答えが簡単に出てくると思います。3年生にとっては、そんなことを考えている時間もなく、全力で勉強に取り組んでいるはずで、しかし、テストや入試が無ければ勉強はしなくてもよいものなのではないでしょうか。入試科目ではない教科は勉強不要でしょうか。

何年前にもこの通信で、私はこのことについて以下のように書きました。「9教科はこれから生きていくために必要な知識を9つに分けたものであって、いつか必ず必要な時があるものだ」しかし、最近はそのに加えて「自分の可能性を発見するために、9教科があるのだ」という考えも持ちました。

よく英語や数学が嫌いな人の中に「自分は外国旅行に行かないから英語は必要ない」とか「足し算やかけ算だけ分かれば、生活できるからそれ以上難しい数学は勉強しなくていい」という話をする時があります。これは間違っているとは思いますが。英語は単に外国人に会った時に役立つためだけではなく、文法の違いから英語的な考えを知ったり、英語の発音の美しさや文学的な価値を知るためにあるのだと思います。また、数学も同じことで、数学的な考えやひらめきを知ったり、論理的に考えていくことを身に付けていくことができるからこそ、勉強の価値があると思うのです。

もし、仮に将来自分の家を建てようとした時、9教科で身に付けた力を総動員する必要があるはずで、まず、高額な支払いをどうするのか(将来設計や収入の計算能力)、様々な手続き(社会性)、デザインや配色、暮らしやすさ(技術・家庭や美術の感覚)、業者の方などとの連絡(コミュニケーション能力)等々が必要だと思います。そこに9教科の必要性があるのだと思います。

さらに、中学生にとって将来の自分の可能性に気付くために9教科があるのだと考えます。自分の得意なものは何か、不得意は何か、そして自分の興味・関心のもてるものは何なのか。9教科の学習の中から、少しずつ見付けていくことが大切だと思います。中学生ぐらいの年齢から、偏ったものしか学ばないとすれば、自分の可能性を知らずに成長していくことになり、そうすると、せっかくの自分の秘めた可能性に気付かずに、一生を過ごしてしまうかもしれないのです。だから、今は苦手としたり、難しいと思っている教科があったとしても、しっかりと学ぶことで、自分の可能性を広げていくことになると思うのです。将来、自分の能力のどの部分を生かすことになるのかは、まだまだ分からないはずだからです。

人は一生の間、学び続ける必要があると思っています。中学生はその学びの入り口に立っているだけに過ぎないのです。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その12

先週号に「あいさつを変えるのは？」と書いて、良くなってきている山王中生のあいさつについて書きましたが、その後もさらに良くなっています。しっかりと立ち止まってあいさつしてくれる生徒がどんどん増えていますし、自ら大きな声で「おはようございます！」とあいさつしてくれる生徒も増えています。ぜひこれからも続けていってほしいです。

「進路説明会」でした！

今日の午後、3年生は「親子の進路説明会」を行いました。高校入試の日程や手続き、前期選抜とはどのようなものか、など詳しい説明が行われました。3年生全員と保護者もたくさん参加していました。いよいよ始まるな、という気持ちになりました。